

みき歴史資料館

三木市の歴史及び文化遺産に関する資料を収集し、保管及び展示することにより、市の文化及び教育の振興に寄与するとともに、歴史資料等を媒体とした人々の交流の促進により、市の活性化を図るため、平成28年5月5日に「みき歴史資料館」として開館した。

1 展示事業

(1) 常設展示

三木の歴史を6つの時代に分けて、発掘調査によって出土した遺物、古文書などの歴史資料を約300点展示。また、本年度は、若宮神社の神輿と秀吉肖像画パネルを新たに追加展示するとともに、展示物の一部を以下の通り変更。

変 更 前	変 更 後
大工職人・染形紙関連史料（宝蔵文書）	金物産業（黒田清右衛門家文書、大工道具の江戸市場取引に関する史料）
鉄道切符	金物産業（黒田清右衛門家文書、北陸視察・ショベルスコップ会社史料）
在郷軍人・三木銀行解散の史料（玉置家文書）	切手会所関連史料（黒田清右衛門家史料）
檀鶴（だんじり）資料（宝蔵文書）	ヤホー神事史料（若宮神社畑座史料）

(2) 企画展示

ア 「タイコと三木」

会 期 令和2年6月1日～8月10日

内 容 堀光美術館所蔵の祭り屋台資料について、高欄掛けや水引幕を中心に紹介。入館者1,790人。

イ 「別所町の遺跡」

会 期 令和2年9月26日～12月6日

内 容 別所町で実施された遺跡の発掘調査成果について、出土遺物や写真パネルを通して、別所町の歴史を紹介。入館者2,601人。

ウ 「三木町の地子免許特権と義民の『記憶』」

会 期 令和3年1月16日～3月21日

内 容 現在本要寺宝蔵内で保管されている『三木市有宝蔵文書』や本長寺に伝わる歴史資料などを通じて、三木町の地子免許と義民伝承にまつわる歴史を紹介。入館者1,644人。

(3) 「記念物100年」展 in 三木

会 期 令和2年8月22日～10月4日

内 容 「記念物」保護の取組が始まってから100年を迎えた節目として、文化庁が令和元年より実施している「記念物100年」事業に昨年度に引き続き参加し、100年の間、どのように保護がなされてきたのかについて、国内の代表的な「史跡」「名勝」「天然記念物」やそれに関わる各地の取組をパネルで展示。

2 関連事業

(1) 企画展特別講演会

「三木の『義民』伝承と顕彰行為」

日 時 令和3年3月6日 午後1時30分～午後3時

講 師 長谷川 奨悟（佛教大学宗教文化ミュージアム学芸員）

内 容 三木町の地子免許の特権を守り通した三木の義民について、古文書や絵図等を通して紹介。参加者39人。

(2) イベント

「若き秀吉ゆかりの地スタンプラリー」

会 期 令和2年2月6日～令和3年5月31日（予定）

内 容 大阪城天守閣の主催によるスタンプラリーにスタンプポイントとして協力。押印者1,152人。（令和3年3月末現在）

3 施設管理

実 施 日	内 容
令和2年4月28日	誘導灯及び防排煙制御装置修理
令和2年7月13日	受電設備の漏電回路交換修理
令和2年7月15日	監視カメラ2台増設
令和3年1月30日～2月2日	下水配水管流末部の閉塞解消作業
令和3年2月22日	1階近世展示室天井設置ファンコイルの漏水修理

4 入館者数統計

月	来館者数（人）	開館日数（日）
4 月	150	7
5 月	0	0
6 月	852	26
7 月	642	27
8 月	1,065	26
9 月	950	26
10 月	1,047	27
11 月	1,042	24
12 月	805	24
1 月	591	24
2 月	711	22
3 月	870	26
合計	8,725	259

※ 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたため4月9日～5月31日は臨時休館

5 みき歴史資料館協議会

歴史資料館には、三木市立歴史資料館条例により、その運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする協議会を置く。

内 容	開催日	実施場所
1 報告事項 (1) 令和2年度上半期実施事業報告・利用者実績 (2) 令和2年度下半期実施事業計画 2 協議事項 (1) 令和3年度事業計画予定（案）について (2) その他	令和2年10月8日	みき歴史資料館 3階講座室

1 報告事項 (1) 令和2年度下半期実施事業報告・利用者実績 2 協議事項 (1) 令和3年度事業計画予定（案）について (2) その他	令和3年3月18日	みき歴史資料館 3階講座室
---	-----------	------------------